



**60th Anniversary**  
Rotary Club  
of Toyohashi-North



豊橋北ロータリークラブ創立60周年記念誌



---

## 目次

創立60周年記念座談会	— P 2
創立70周年に向けて	—— P 9
各年度活動報告	—— P 12
サンクス基金	—— P 22
創立60周年 記念式典・祝賀会	—— P 24
記念コンサート	—— P 26
各年度委員会編成 例会記録	—— P 28
物故会員	—— P 48
会員名簿	—— P 49
実行委員会組織図 編集後記	—— P 54

# 豊橋北ロータリークラブ 創立60周年記念 座談会

平成29年5月31日(水) 10:00~  
豊橋三菱ふそう自動車販売(株)会議室にて



- ◆パネリスト
- 2016-17会長 ——— 佐藤元英
- 会長エレクト ——— 山内有恒
- 60周年相談役 ——— 中西喜久雄
- 60周年部会長 ——— 西川康夫
- 60周年部会長 ——— 安達道行
- 60周年委員 ——— 石川誠
- 2016-17幹事 ——— 大石佳史

- ◆コーディネーター
- 60周年実行委員長 — 鈴木伊能勢

- 編集委員 ——— 岡本敏幸
- 下山暢子
- 村田 裕



## 1 座談会

### 『THE 豊橋北ロータリークラブ』 60年の感謝を込めて、 豊橋北ロータリーらしさをさらに極める。

60周年の節目をどのように位置付けるか。豊橋北ロータリークラブに在籍した多くの会員の皆様の魂・情熱を想い起す機会とする。その上で豊橋北ロータリークラブの特徴・強みを生かし、この豊橋で将来を見据え、豊橋北ロータリークラブならではの活動を展開する新たなスタートラインとする。以上のように位置づけ、記念事業・記念コンサート・記念式典と60周年事業を行いました。豊橋北ロータリークラブの会員にとって魅力的なロータリークラブであるのはもちろん、地元豊橋この地域にとっても魅力的な団体であり続けたい。その為には、「奉仕活動であるからこそ本物」を全力で追求してこそ価値があります。60周年記念コンサートによって、地域の皆様に豊橋北ロータリークラブを強く印象付けることができました。記念事業として「サンクス基金」が立ち上がり、今後10年の活動の柱ができました。豊橋北ロータリークラブの会員ひとり一人にとって、この60周年事業に参加することで「地域愛・クラブ愛」がさらに深まり、豊橋北ロータリークラブとしてのアイデンティティが極まりました。

2016-17会長 佐藤元英



### 豊橋北ロータリークラブへの 入会動機について

鈴木／座談会開会にあたり、佐藤会長より一言お願いします。

佐藤／まずは式典お疲れ様でした。神野吾郎豊橋商工会議所会頭からのコメントで豊橋北ロータリークラブほど地域愛・クラブ愛に満ちたロータリーはないんじゃないか、というお褒めの言葉を頂き、大変満足感がありました。

鈴木／山内さんにお聞きします。佐藤会長は祖父、父上がロータリーの会員であり、入会する以前から非常に親近感があったと思うのですが、山内さんはいかがでしたか？

山内／ロータリーはお父さんからの思いが強い方が非常に多い、という意識がありますね。子どもの頃からロータリーに親近感がある方たちがそれなりにいる。私はそれとは少し異なって、割と客

観的に見ていました。「なぜ毎週火曜の昼になるとなくなるんだろう」「何をやっているのか、全然わからない」というところからのスタートでした。

鈴木／入るときはどんな団体だと思っていましたか。

山内／それなりに社会奉仕をやっている団体なのだろうと思いました。みんな仲良く親睦中心で楽しくやっているんだろうなあと。ただ、私はゴルフはやりませんし、どちらかと言えばお付き合いは苦手なので、できればそっとしておいて欲しいという感じで(笑)。未だに戸惑っています。

鈴木／そう思って入った結果、良かったなという感触はありますか。

山内／お付き合いが苦手だったのが、少しは治るのかな、と思いましたね。また、社会奉仕というところに基づいて、自分にとって何がプラスになるか、という自分の研鑽ですね。いろいろな苦手なこと

このまま手を打たねば  
衰退していく。  
このクラブには未来を  
切り拓く知恵と  
情熱があるはず。

もやらせて頂いたので、プラスになっていると思っています。

鈴木／長老の中西さんにお聞きします。ロータリーに入ったきっかけはどのところからですか。

中西／私の場合は飲み友達に誘われたのがきっかけです。私はみなさんと違って、豊橋が出身でなく友達がいな

かった中で、友達関係が次から次へとできました。これは喜びであつたし、それを通して豊橋という社会を見ることが沢山出来ました。そういう繋がりは今後も大事にしていきたいです。

**鈴木**／豊橋はどういう街だと思いますか。

**中西**／面積としては大きいんですが、人口が1ha40人以上の場所のことを指す“人口集中地区(DID)”が街の真ん中でもとても少ない。だから人の集まり、エネルギーというものにはちょっと欠けるような気がします。ただ、自然の素晴らしさがあるので、これは財産なんじゃないかと思えます。

**鈴木**／石川さんもお父様がロータリーに入っておられました。父親が見ていたロータリーと、自分が入って感じたロータリーと、その像は同じですか。

**石川**／ギャップはそんなにないですね。父は亡くなるまで在籍して生涯現役のまま終わりましたが、週に1度ロータリーに行き、昔からの仲間と一緒に食事したり、場合によっては年に一回世界大会に行ったりと、というのが父の生活の一つのリズムになっているようなイメージを受けました。

**鈴木**／現在の親睦委員長として、今後何を求めてやっていきたいと思っていますか。

**石川**／親睦ということ考えた時、夜の例会が終わってもそのまま解散になってしまうことが多いように感じましたので、最近はフォーラムの後は希望者の方を募って飲みに行ったり、理事会の後も必ず懇親会をセットしたり、と自分なりに懇親が持てるような場面を作ろうと思っています。せっかくこれだけのメンバーがいるわけですし、この同じ仲間が少しでも接点を持ってロータリーと言う場を通じて懇親ができれば、という思いで腐心してきたつもりです。

せっかくこれだけのメンバーが揃っているのですから、少しでも多く接点を持てるような懇親の場をつくりたい。

## 2 座談会

### 豊橋北ロータリークラブに入会して良かったこと、入会前のイメージとの違いについて。

**鈴木**／西川さんにお聞きしたいのですが、ロータリーに入会する前と入会してからのイメージに乖離はありますか。

**西川**／私の場合は父親が入っていたのですが、父とは殆どつながりがなかったのでロータリーの情報は全く知りませんでしたし、入会してもロータリーがどのような活動をしているのか等殆どわからなかったですね。ただ、他のロータリーの方のお話を聞くと、私のようにあまり社会性のない人間でも認めてくれる包容力のある北ロータリーで良かったな、と感じています。一番勉強になったのは、いろんな違う職業の実態や状況を知ること



石川 誠

が出来たことです。

**鈴木**／安達さんはいかがですか。入会前のイメージと入会してからのロータリーの実態に乖離は。

**安達**／乖離は殆どないと思います。もともと父が長い間会員でしたが、親睦以外の事は情報として何もなかったです。強いて言えば年齢差が大きかった。思ったよりも上の方たちが多かったということです。

**鈴木**／大石さんはいかがですか。大石さんも安達さんと同じような環境だと思いますが、入会する前後でイメージの違いはありましたか。

**大石**／私も何となくイメージはありましたが、何をやってる団体かというのがよくわかっていなかったです。パソコンがない頃に父が手書きでいろんなことをやって

いる姿は見ていましたが、それが何をやっているのかはよくわかっていなかったです。入会してから、北ロータリークラブというのは530発祥のクラブなんだとか、植樹をやっているんだとかは初めて知ったくらいです。

**鈴木**／北ロータリークラブの良さについてはいかがでしょう。

**大石**／うちのクラブは先輩が良いと思います。特に今年幹事をさせていただいて思うのは、いろんなことで小言などたくさん言いたいことがあるだろう時にとても寛容ですね。いろんなお願いや無理を言ったりすることがある反面、抜け落ちていた部分もあったと思うんですが、お叱りではなくアドバイスを頂いたことが多かったです。

**鈴木**／それは思います。新しい会長と幹事になったら「しっかりやれよ」と送り出してくれる、見守ってくれる。ガミガミあまり小言を言わない。いちいち目くじらを立てない、という感じで温かさがあります。そこは北ロータリークラブの特性なんだと思います。

**鈴木**／佐藤会長は北ロータリークラブの良さについてどう思われますか。

**佐藤**／北は「かくあるべき」という“べき”論があまりない。それが一番良いところで、それは歴代の会長、幹事、メンバーの先輩皆さんがそういう風にしてこなかったことで良い体質ができたと思います。また、それぞれの時代で植樹や530などやりがいがある事業があり、「北ロータリーすごいね」と言ってもらえる文化が育ってきたということです。また、例会は面白くて時間の充実度は高い。ただ、その内容を濃くして毎週毎週行きたいようなロータリーにすることが皆さんの自己研鑽のためになるし、メンバーお互いの切磋琢磨のためにもなるので、そこ

はレベルを上げる必要があると思えます。

**鈴木**／石川さんはこの北ロータリークラブの良さの空気の原因は何だと考えますか。

**石川**／メンバー一人ひとりのロータリーに対する想いや考え方が大きいと思います。ただ一つ大きくあるのは、豊橋ロータリークラブから別れて出来た、という親に対するアンチテーゼみたいな部分は根っこにあるんじゃないかと。「あそこはちがうぞ」という魂は、何となく私たちの中にも受け継がれてきているような気はします。もちろん、良い部分悪い部分それぞれあると思いますが、いたずらに形式主義に走らない、みたいな部分の文化はあるんじゃないでしょうか。

入会するまで親睦以外のイメージがあまりなかった。強いて言えば思ったより年齢差が大きかったことです。

安達 道行



Adachi

先輩の寛容さ。これはうちのクラブの良さです。不手際に関してもお叱りではなく、アドバイスを頂けるのですから。

大石 佳史



Oishi



3  
座談会

佐藤元英

Sato

サックス基金は企業や地域に見聞や視野に広がりを持たせ、日本に貢献できるような世界との繋がりができれば、と考えました。

### 展開してきた記念事業への感想について

**鈴木**／2年前から佐藤会長が60周年を行うということで構想を温めてきて、いろんな展開をしているわけですが、あらためて佐藤会長に60周年の記念事業について、どうしてこういうことを考えられたのかという話をお願いします。

**佐藤**／北ロータリーの財産を考えた時に、大きな存在としてクラブ米山があり、そこからこれからのロータリーのメンバーの皆さんの興味が持てること、視野が広がることは何かないか、と考えました。また、ある程度連続性が保てること、という中で米山奨学生の話もあったのですが、技科大の留学生の実情や活躍している姿を見たときにもったいないな、という事を感じました。こちらにはクラブ米山があるので、これに関係性を持たせたら我々がロータリーのフィールドで使うことができるし、それぞれの企業としても、地域としても見聞が広がり、視野が広がり、もっと言うと日本に貢献できるような、ことができるんじゃないか、と。それでその繋がりを作るような基金を立ち上げることを思いつきました。

**鈴木**／展開した記念事業の感想につ

いて、西川さん、記念コンサートについてお願いします。

**西川**／みなさん本当にありがとうございました。最初オペラは間口が狭く、何より格調が高くて、一般の会員にチケットをお願いするのは相当厳しいかと思っていました。蓋を開けてみたらノルマがあった委員会の皆さんよりも一般の会員の方がよっぽど積極的に電話が入って、想像以上に

協力があったということで大変ありがたかった、というのが一番の印象です。

**鈴木**／サンクス基金について手応えとして安達さんどういった感想を持たれましたか。

**安達**／僕はもともと技科大とは、仕事でもお付き合いがあるところだったので、ある程度知っていたつもりだったのですが、改めて行ってみると知らないことが多く、留学生の事も知らなかった。変な言い方ですが、留学生の子たちが思ったよりはるかに優秀だということが実感できました。そんな留学生をサンクス基金の対象者として選ぶことができたのも非常に良かった。そんなすこぶりを我々も豊橋の人も知らないというのはもったいない。事業をやってみて改めて思うのは、我々も含めて自分たちの近いところにあるものの良さを知らないことが多いのではないかということです。豊橋の良さも様々あるのに、良いことをなかなか言わない、発見できない、という部分も多いので、そんなものが見つけられてよかったなと思います。今後サンクス基金を運用していく時に事業を通して我々が発見したことなども奨学生の方たちにも伝えていければいいなというのが個人的な感想です。

**鈴木**／記念事業としてコンサート、サンクス基金、記念誌とありますが、中西さん、統括してどのような感じを持たれていますか。

**中西**／普通はある日突然60周年でオペラというものが出てくると、一般の人は違和感があると思うんですが、記念コン

サートが成功したのは4年ごとに三河市民オペラが上演されていることが市民の中に浸透しているということだと思います。また、記念誌で言えば50周年のときは50年間の結果だけを捉えていたのですが、今回の記念誌は次の10年を見据えた展開を盛り込んでいこうというのが大きな変化です。

**鈴木**／山内さんは選歴を迎えた我がクラブの新しいスタートを切った第一号の会長というわけですが、どんな気持ちで記念事業を統括して次へつなげようと思われていますか。

**山内**／これから10年、20年という事を考えながら進めていくなかで、来年の私の方針が未来につなぐ、街をつなぐ、会員をつなぐ、と「つなぐ」なんです。61年目の再スタート、サンクス基金をどう上手く生かして軌道に乗せていくのかというのが一番重い課題かなと思います。

記念コンサートでオペラというのは格調が高くて心配しましたが、期待以上の協力も頂いて大変ありがたかった。

西川康夫

Nishikawa



50周年の時は50年間の結果だけを捉えた記念誌だった。今回は次の10年をも見据えた展開を盛り込んだのはとても意義深い。

4  
座談会

### 現在豊橋北ロータリークラブが抱える問題について。

**鈴木**／今、北ロータリーが抱える問題はどんなことだと思われますか。石川さんお願いします。

**石川**／以前と時代背景が異なってきているなかで、ロータリーの存在価値をどういう風に高め、アピールしていくのか、その最大の問題は会員数の減少だと思います。60周年の記念事業もそうですが、実際に動ける人間の絶対数がある割合に限定されてしまう。組織で何かを動かすということが難しい部分があると思います。北ロータリーの良さとして、ある意味寛容である、緩い、という指摘がありました。いろんな予算決算、お金の使い方などに関しては、後進にいろんなものを残していくという意味でも、もう少し細かくやった方がいいんじゃないかと思っています。また年齢構成として、ロータリーの場合は非常に広く、また立場も様々ですから何かを取り組む時に、その

中西喜久雄

Nakanishi



ギャップが大きく出てしまうことがあり、活動の難しさみたいなものは感じます。

**鈴木**／安達さんはいかがですか。

**安達**／どんな団体でも会員を増やすというのは必要になってくると思うんですが、我々はどういう特色を出すか、どういう団体だと言っていくのか、ということです。私もJCの時はずっと拡大ばかりやっていたので、JCというのは組織としてのメリットがあると訴え続けました。ロータリーで組織に入ることでもメリットがあるのかと聞かれると、それも少し疑問なので、それよりも「こんな人たちと一緒にできる」など個人のパーソナリティをアピールする方が良いのかなと思います。

**鈴木**／中西さんは現在北ロータリーが抱える問題についてどう思われますか。

**中西**／他の社会でもそうなんですが、継続性という問題が一つの社会現象になっていますから、我々もそれを捉えていくということだと思います。人数で言えば70人や80人というのは非常に居心地の良い数ですが、世代交代を中心に継続性を考えると必ず手を打って行かないといけない。人そのものがない中には組織もエネルギーが覚醒しません。

**鈴木**／山内さんは来年の会長として、今の課題は何だと意識していますか。

**山内**／会員数をどうするか、何名が適



正か、ということですね。過去の会員数推移で言えば一番ピークが118名くらい。一時64名まで落ちて、今年67名に戻るんですが、結局はひとり一人のパフォーマンスの問題だと思います。単純に絶対数ではなくて、個の力、ひとりひとりのパフォーマンスが上がるようなことをしていけないと、継続していけないと思います。それをどうやっていくのか、ということですが、ゴルフや親睦はあっても若い方たちは先輩達が何をしてきていて、どういう人なのかを知る機会が非常に少ない。月初例会は会員スピーチにしようというのが次年度の目標になっています。いろんなところで出番を作りながら、お互いをもう少しつなぐ機会をと考えています。

**鈴木**／西川さんはいかがでしょう。  
**西川**／親睦なのか、勉強会なのかがいまいで、もう少し地域に役立っているという手ごたえがほしい。そういったことをもう一度会員の皆さんと取り組めるようにしたい。サンクス基金に関して言えば、クラブとして結局お金を払っているだけ、奨学生はただお金を貰っていただけのように感じます。当初は卒業した後の関係づくり、この地域に還元してもらうような仕組み作りという話で始まったと思うのですが、まだその段階には来ていない状況なので、そこがキーポイントじゃないでしょうか。

**鈴木**／問題点についての総括を佐藤

会長に、お願いします。

**佐藤**／どうしても、会員が減ってくると活力がなくなるのは事実で、そこについてはある程度、円滑にできるだけの新陳代謝が必要。それが現役のメンバーの強い想いと、やりがいのあることが会員拡大につながる、それは外せないと思います。北ロータリーとしては、メンバーが持っているいろんな知恵や経験などを活かしながら尊敬される団体になりたい。そうすれば、歳を重ねて具体的にいろんな活動ができない70代や80代のメンバーでも役割はあると思います。

**鈴木**／佐藤会長には次年度の山内会長への申し送り事項としてどのような道を歩んでほしいと思われませんか。

**佐藤**／今年一年の中で、手をつけられなかったことがたくさんあるので、そういうことはしっかりやっていただきたい。70周年に向けて、と言うよりも、技科大を中心にサンクス基金を作ったことや、その記事を東日新聞や東愛知新聞に記事を書いたようなことが自然発生的にどんどん起こっていけば、それが新しい、北ロータリーらしいキャラになっていくと思います。「そんな楽しそうな活動があるなら北ロータリーに入ろうかな」となるような、かたがちははっきりわかるといいです。また、会長をやっても経験を活かして委員長をやってもいいわけで、そういうことが起きていかなければいけないと思います。会長を経験されて今尚元氣な方を放っておくのはもったいない。今の構成上、元氣な人を使っていかなければ

いけないので、それはその人の意思を尊重して声をかけていけば良いと思います。

**鈴木**／最後にメの挨拶を山内さんお願いします。

**山内**／来年の地区ガバナーから“今日からのロータリーを楽しもう”という地区方針が出ています。その中の行動指針の第一番目に「マストで10年後、20年後のこれからの見据えたクラブ戦略委員会を立ち上げる」というのがあります。クラブ戦略委員会の委員長は会長と言われましたので、取りあえず私が委員長、副委員長が匹田雅久会長エレクトというかたちの構成で、委員会方針も作りました。クラブ定款が変わり、とても自由度が増えたので細則をもう一度大幅リニューアルをしようと思っています。最新のロータリーおすすめRI、おすすめの委員会構成というのは、奉仕プロジェクト委員会一つあればいいのです。だから、うちのクラブとして何を重点に奉仕プロジェクトをやるのかということを考えれば、そこに向けて話し合っていくことも可能なので、実際の組織構成などについても別途検討していきたいと思っています。

何を重点に  
 奉仕プロジェクトをやるか、  
 実際の組織構成  
 なども検討して  
 いきたい。

Yamauchi

山内有恒



創立70周年に向けて

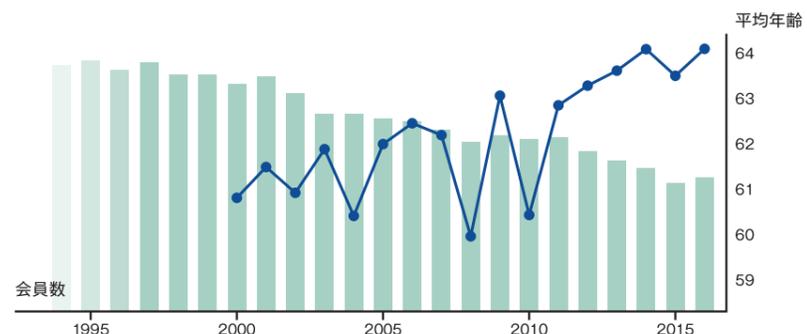
「つなぐ」をキーワードに  
 個の力、一人一人の  
 パフォーマンスアップを目指しながら。

これからの10年、20年を考えていく中で、新しいサンクス基金を10年続ける、軌道に乗せていくという事が一番の責務だと考えています。私の次年度の方針が未来につなぐ、街をつなぐ、会員をつなぐ、と「つなぐ」ことでもあります。61年目の再スタートでは、このサンクス基金をどう上手く活かし、次へつなぐかが課題となり、そのためには会員数と一人一人のパフォーマンスが重要になります。過去の会員数推移を見ると、ピーク時で118名、一時は64名まで落ち、今年は67名でした。しかし、これをただ単純に絶対数で考えるのではなく、個の力、一人一人のパフォーマンス自体を上げていかないと、継続は難しいだろうと思っています。

折しも、来年の行動指針の第一番目として10年後、20年後のこれからの見据えたクラブ戦略委員会の立ち上げがミッションとなっていますので、今後当クラブでも実際の組織構成も含めて、奉仕プロジェクトの重点の置き場所などを検討していこうと思っています。



山内 有恒



過去の振り返りにとどまらない、  
 意欲的な取り組みこそが  
 組織全体の覚醒に。

私は50周年の時に会長を務めさせていただきましたが、この時の内容は50年の反省が中心でした。一つの節目として530運動や緑化運動を徹底的に見直し、次への展開として新しい取り組みも提案したのですが、この時には既存の活動の維持を支持される方が多数でした。今回の60周年は、佐藤会長の強い意欲により、非常に有意義で大きなかたちになり、大変前向きなイメージを感じています。その一つがこの記

念誌であり、前回の様に50年間の結果だけを捉えるというのではなく、次の10年を見据えた展開を盛り込む取り組みを頼もしく感じます。会員数の拡大などの問題に対しても、常に継続性を考慮した取り組みを意識することで人が集まり、組織全体のエネルギーが覚醒するものと考えています。



中西 喜久雄

活発的に、より躍動的に。

北ロータリークラブをより

世代を超えた交流が、

私自身の主観になりますが、年齢的に私たちより一回り上あたりの大先輩方には、なかなかのジェントルマンが揃っていらっしゃいます。



西川 康夫

私たち北ロータリークラブの財産であると言っても過言ではありません。だからこそ、その方々には、今までよりもさらに北ロータリーに関する提案をしていただき、あるいは先頭に立って、クラ

ブを率いてもらったりすることも、北ロータリーの運営においては全く問題ないかと思われ

れます。今までよりもさらに、世代や年代の幅を越えて議論できるような場を設けることで、より私たちのクラブの活動が活発になり、そして推進させるエネルギーが生まれることにも繋がるかと思

います。そうすることによって、各々の自覚と、北ロータリークラブを担っていく責務もより増していくだろうと考え

会員の輪を広げていく。

活動をより明確に発信して、

北ロータリークラブの

私が入会する以前は1年半以上入会者がなかったという風に聞いていますので、今年度入会者が増えたということは、まずひとつ成功したことだと思います。また、入会を決めた方々の話を伺うと、例



安達 道行

えば「佐藤会長から薦められた」というように、どこかで会った時に現会員から声をかけられている人が比較的多く入っているように感じられます。これらのことから「組織を活動的にしていく」「70年に向けて会員数を増やしていく」と

いう意味では、今後どれだけ会員それぞれが自身の言葉で声を掛けていけるか、自ら声をかけて積極的に誘っていきたいロータリーにできるか、ということが最も重要だと考えます。それには、ただ参加して昼食を済ませて終わり、ではなく、様々な仕掛けであったり、少しずつ目新しい事を取り入れて

いったりすることも必要です。北ロータリークラブの魅力は、個々人の力と、組織の中でこんな活動をしていると強く発信していけることだと思っています。従って70周年に向けては、サンクス基金も含め、現行している諸活動の精度をさらに高め、ある程度のかたちにしていく必要があると感じています。

未来の北ロータリーを支える。

ひとり一人の活動力向上こそが、

会員数拡大と、

これからの見据えた時に考えるべき問題には、大きく2つあると考えています。ひとつは、会員数の拡大。人口の減少が続いている中、豊橋の規模で5つのロータリーがあることを考えると、10年程の間に5を3にする程度の合併がないと、基本的には今の状態での維持には危惧を覚えます。北ロータリークラブは他のロータリーと比べ、サラリーマン比率、具体的に言えば転勤族、また地元大手の企業の方の比率が高いのが、一つのアドバンテージになっています。こういった方々は比較



石川 誠

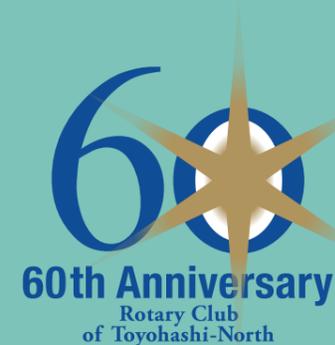
的年齢が若く、絶えずフレッシュなメンバーが入会することにより一定以上の優秀なレベルが維持されていますので、その部分の拡大が必要だと考えます。もうひとつは、会員一人

ひとりのパフォーマンス向上の必要性です。具体的には、先輩方のさらなるご活躍を願っています。一年間親睦委員長を務めさせて頂いた中で感じたのは、キャリアが長く、私親世代で立派な役職を歴任されている方々に、一フロアメンバーとしてお願いする事にどうしても遠慮があったのが正直なところ。結果的に多くの部分を自分で行ってしまい、一部を比較的若い副委員長にお願いしてしまったことが多いです。先輩方ももっと関わりたいと思っている方もいらっしゃるかもしれない。このような時に若手がいたずらに遠慮するのではなく、反対に今以上に先輩方とコミュニケーションを図る必要があると考えます。そのためには懇親を充実させ、互いを知った上でフランクにお願い事ができるような関係が構築できれば、よりスムーズに人材活用が図れるのではないのでしょうか。

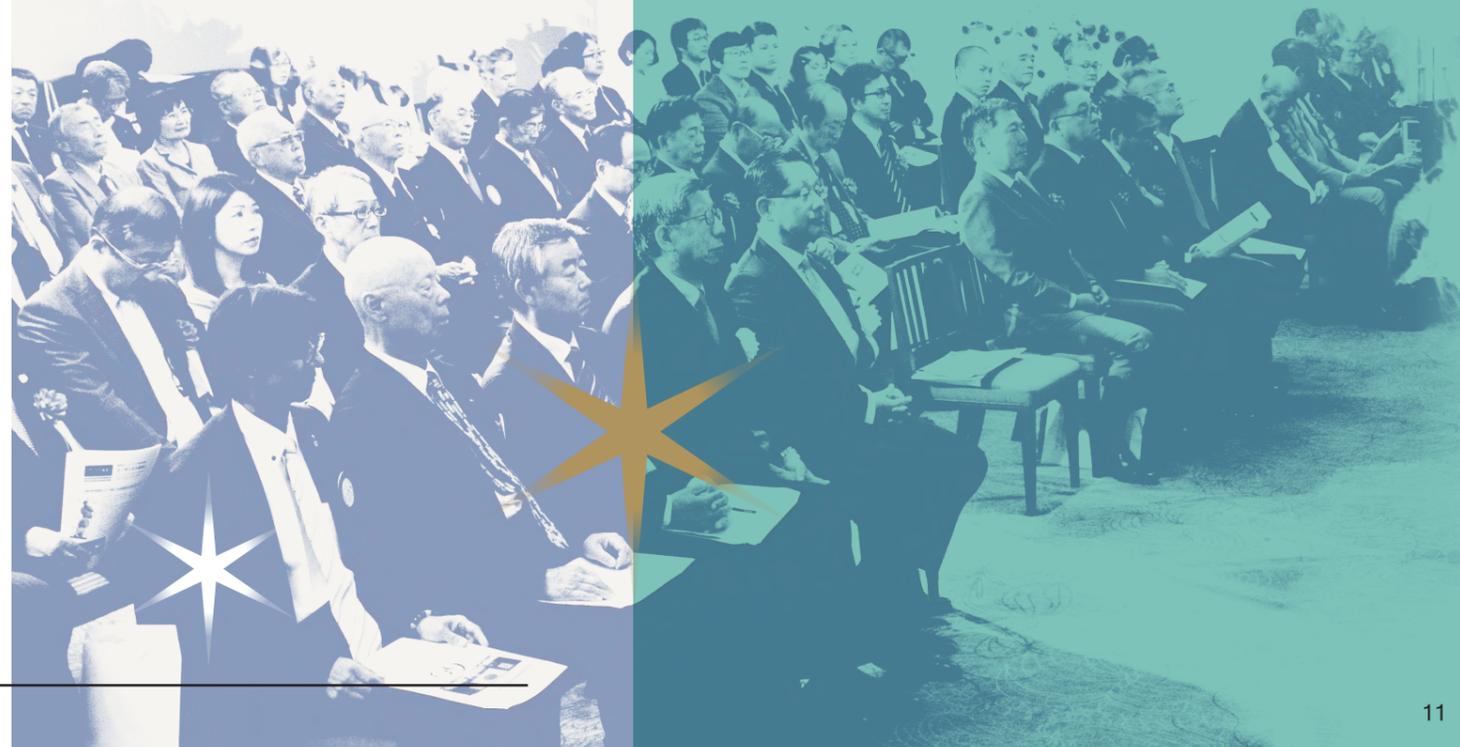
## 座談会を終えて

もし今私が豊橋北ロータリークラブの会長に選ばれたら、兎に角7人の委員長を選べば例会は恰好がつく。「例会の充実、会員の満足」を方針に掲げればクレームは出ない。あとは幹事に一切を任せておけば良い。年間45回の会長スピーチさえこなせばそれで事は済む。会費収入は確実なのでお金の心配もいらない。しかしそれでいいのだろうか。それだけなら豊橋北ロータリークラブの社会的な存在価値などないも同然。団体としての魅力も、新しい会員を引寄せられる力もなくなっていく。今までの思い出の中の60年、心の中に存在するロータリークラブの姿、そして目指すべきこれからの10年を語ったこの座談会が、還暦を迎えたこのクラブの新しいスタートだ。このクラブに入会したお蔭で私の人生は未知の世界との遭遇の連続で豊かなものになっている。いささかなりともその感謝の気持ちをクラブに伝えておきたかった。

60周年実行委員長 鈴木 伊能勢



## 各年度活動報告





第1回 2007年 9/6-10  
第2回 2008年 3/5-9

フィリピン  
「スモーキー  
マウンテン」  
幼児への給食  
プログラムの  
実施



子供たちは目を輝かしながら、小さな手で我々の手をとり、額に持っていくサラマッポ(ありがとう)と大きな声で感謝してくれました。胸を熱くし、涙を流し感動した会員もいました。



4/8  
春の家族会  
「京都」

サントリー山崎蒸留所。



1/8  
お能を見る  
新年初例会

◆シテ…長田 駿 ◆太鼓…寛 敏一



12/18  
年忘れ家族会

ハワイの風と波間にゆったりと。  
◆ハワイアンバンド…エコモマイ  
◆ボーカル…笛吹 奈保子  
◆フラダンス…プアエナガールズ



新会場ホテルアークリッシュ豊橋に於て

9/9  
会場変更  
記念例会



4/14  
春の家族会  
「滋賀」

源氏物語千年紀に当たる年に当たり紫式部が構想をめぐらした瀬田川畔、石山寺を参詣、船上からの花見「海津大崎の桜」見物をしました。



1/27  
新年宴会

あの素晴らしい青春をもう一度!

◆デビット見城とカントリーバンド



9/9  
北原照久氏  
記念講演  
「夢の実現」



◆歌…板倉恵三子 ◆ピアノ…伊藤昌司

12/16  
年忘れ家族会



東大寺大仏殿特別登壇。

4/13  
春の家族会  
「東大寺大仏殿」



7/7  
第54年度  
理事会メンバー



初春に舞う安城三河萬歳。

1/12  
新年例会



12/22  
年忘れ家族会  
「シャンソンの夕べ」

◆歌…浜崎久美子/宮入公子



第55年度  
理事会メンバー

8/10  
納涼例会

豊橋北ロータリークラブ  
84人のスターが集う  
「スターへん一夜」。



4/19  
春の家族会

奥三河の春を堪能しに出かけよう!「志多らの里」を探索。



10/24  
COP10イベント  
葦毛湿原530ウォーク。



春の家族会は伊勢神宮へ。天候にも恵まれ参加メンバー全員の親睦を深めました。

4/17 春の家族会「伊勢神宮」



1/10 新年例会

新年会に魚町に残されている能面で、笈先生を始めとする能面師に登場して貰い、穏やかな新年を迎えました。



12/20 年忘れ家族会

RCバンドをバックに皆で音楽、最後は「上を向いて歩こう」の合唱でした。

ホテルの3階テラスのビアガーデンで、真夏の夜風を浴びながらの、はしゃぐ例会を催しました。



8/10 納涼例会



4/16 春の家族会「京都」 京都の庭園と京菜グルメの旅。



京都大学にて。



8/7 納涼例会

出演 / 浜松さんぞんオールスターズ



12/25 年忘れ家族会

早稲田大学ハイソサエティオーケストラの演奏。



12/24  
年忘れ家族会

- ◆ヴァイオリン…渡辺知恵氏
- ◆ヴァイオリン…森有加氏
- ◆チェロ…生駒宗明氏
- ◆ヴィオラ…箕浦理恵氏

「イブの星空の下 友情を育む」の下、弦楽四重奏によるクリスマスソングを楽しみ、イラストコーナーではお子様から先輩会員まで参加、歓声・拍手とともに大いに盛り上がった。



8/10  
納涼例会  
「豊田スタジアム」

J1サッカー、名古屋グランパスvs浦和レッズダイヤモンドを観戦。グランパス快勝！会員皆、熱くなった。



4/6  
春の家族例会  
「東京歌舞伎座」

開場1周年を迎えた東京歌舞伎座にて「鳳凰祭四月大歌舞伎」を観劇。日本文化の素晴らしさに感銘を受けた。



8/5  
納涼例会  
ラグーナ蒲郡

「真夏のサンセットクルーズとナイト・イリュージョン」ラグーナ蒲郡にて。

12/16  
年忘れ家族会

「Let It Be ビートルズ・ナイト」  
会長・会長エレクト・副会長・  
幹事による「マイルドワンズ」



- ◆藤田流儀方…大野 誠氏
- ◆幸清流小鼓方…後藤 嘉津幸氏



1/6  
新年初例会



4/19  
春の家族旅行  
「高山」

大下大圓住職と。



5/26  
530例会

植樹を行った豊橋市立くすの木特別支援学校にて。記念樹とともに、障害を持つ生徒の成長を見守っています。



5/29  
530例会  
表浜海岸



表浜海岸での530例会。発祥クラブとしての活動頑張っています。参加の皆様ありがとうございます。



1/12  
新年初例会  
三味線漫談  
◆林家あずみ



10/28  
東三河地区の  
身体障害者  
4施設による  
ゴロバレー大会

障害者の一生涯懸命な姿に心を打たれました。



5/10  
創立記念例会  
大先輩の皆さん、長い間ありがとうございました。今後もよりしくお願いします。



8/9  
納涼家族会

時はまさにリオオリンピック開会直後!会場もブラジルにちなんだ料理に飲み物、そしてホテルスタッフも今夜はカジュアルウェアでお出迎え。メンバー、ご家族もリオのカーニバルでノリノリ!!佐藤元英 会長、石川誠 委員長の想いを乗せた納涼家族会。



7/15  
初例会

「The 豊橋北ロータリークラブ」ターゲットとターゲットマーク、そして還暦の「赤」。創立60周年はここから始まりました。



8/23  
2015-16年度  
地区青少年  
交換学生帰国生  
帰国報告  
地区青少年交換  
学生としてネブラス  
カ州オマハ市へ1年  
間留学されていた  
濱田かすみさんによる  
帰国報告。

1/10  
新年初例会

豊橋落語天狗連の成田家虚生さんによる「新春初笑い〜笑う門には福来る!三河弁落語「豊橋首都物語」〜」。他に先駆けていち早く三河弁落語を披露。「三河弁が効いてるズラ!」



7/19  
青少年  
奉仕担当例会  
2度のオリンピック出場経験のある笠松体操クラブコーチの笠松和永氏による腰痛体操の実演。実演助手はもちろん酒井和良委員長!

豊橋北ロータリークラブ奨学金基金



略称 (愛称) **「サックス基金」**

Toyohashi North RC Scholarship

・奨学金制度に感謝するという学生側からの愛称として  
・卒業後も「サックス大使」のような称号でフォローとなってもらう

未来を拓く人材を育てる

◆独自の奨学金制度「サックス基金」を設立

## 60年の歴史を刻んできました

私たち豊橋北ロータリークラブは創立60周年を迎えました。その中でロータリーの奉仕の精神に基づき、多くのことから取り組んで参りました。中でも特筆すべきことは、豊橋市内のいたるところに植樹をつづけ、緑豊かなまちづくりに貢献しました。また、住みよいクリーンなまちの実現にむけて、豊橋発祥の「530運動」に当初から積極的に参画し、その啓発活動を進め、全国に広く知られるようになりました。どちらも、日本の戦後復興期から各都市がそれぞれのインフラを整え産業発展していく中で、住む人々の心の豊かさや住みやすさを向上させるための草の根運動であり、その意味で我がまち豊橋や東三河の地域と人々に貢献してきたことは間違いありません。

## 時代は大きな転換期へと移行します

大きな産業発展を遂げてきた日本も成熟期を迎え、総人口もマイナストレンドを示してきました。多くの都市が今後始まる、企業生産や産業発展を支えてきた方々の第2の人生を受け入れるための施策やそのためのまちづくりを提唱しつつあります。私たちのまちはこの流れに乗っていただけのまちなのでしょうか？

豊橋は日本の「ものづくり」を支える愛知県の海の玄関口に位置し、製造製品の素晴らしさを全世界に知らしめる日本の製造業の最も集中する太平洋ベルトの中心にあり、温暖な気候を背景に工業のみならず農業分野でも日本のトップレベルを走り続け、モノづくりと農業をつなげる新たな産業創出の取り組みの中心地でもあるのです。また、歴史的要地でもあり、日本の「サムライ」文化を語るにはあまりに多くの素材の宝庫であることも間違いありません。このポテンシャルをもっと広く日本に世界に広め、この地域の明るい未来を創る足がかり作りのための住民レベルでの草の根運動も私たち地域人の担えるものだと思います。

## 60周年事業は未来への豊橋北ロータリークラブからのメッセージです

豊橋から毎年200名以上の留学生が全国へ、海外へ巣立っていきます。多くは豊橋技術科学大学の留学生です。しかも豊橋技科大は日本の高等教育を伸ばすための国家戦略「スーパーグローバル大学」として文部科学省に認可された大学に選定されました。この地域で学び、育ち、巣立っていく人財を大学とともに支援し、いずれは豊橋や東三河・ひいては日本をアピールする力強い戦力となって頂きたい。そんな思いを育み伝えたいと、私たちは考えます。

しかも、60年の歴史を作った先輩諸兄が留学生支援のための基金をクラブ内に蓄積して下さいました。それを活かせる絶好の機会をこの60周年ととらえ、タッグを組む身近な大学を得、事業展開には十分な環境が整いました。

## ～豊橋から世界へ 世界から豊橋へ 人のつながりを広げていきたい～

### 独自の奨学金制度(サックス基金)で10年間奨学生を支援し続けます

私たちは独自の奨学制度を豊橋北ロータリークラブ奨学金基金として立ち上げ、「サックス基金」と愛称で呼び、卒業生を「サックス大使」として任命し、この地域を第2のふるさととPRしていただく未来の人財を育てる事業を展開して参ります。

毎年豊橋技術科学大学のご推薦を頂き、私たちと交流し、日本の・豊橋の良さを存分に感じて頂き、理解し、第2のふるさととして母国や日本の様々な地で発信していける知力と気持ちの伴う留学生を受け入れて参ります。

そして、毎月の例会や交流イベント・各種団体との共同事業などにも積極的に参加し、地域のもつ力と可能性、素晴らしさを実感して頂きます。

そのための奨学金を毎月10万円ずつ2名に授与して参ります。初年度はマスター1年生と2年生をそれぞれ1名受け入れます。翌年には1名が課程を修了し新たに1名を受け入れ、この奨学制度のことを1年ずつ先輩から受け継ぐとともに我々メンバーも1名の奨学生と2年間お付き合いし、お互いのことを理解していく時間をもちます。

さらに、奨学生を卒業したメンバーは「サックス大使」を委嘱し、その後も我々と情報共有をはかり、いずれは成長した勇姿を私たちと共有できる存在となって頂きたいと思えます。

今後様々な形で豊橋や東三河の地域や各種団体とも協力してより良い形で私たちのこの思いを育ていける施策に取り組んで参ります。ぜひとも皆様のご理解とご支援を当クラブに賜りますようお願い申し上げます。

60周年記念事業部会 部会長 安達道行



◆サックス大使1号/丁瀬盆さん



◆サックス大使2号  
アンジェラ・レオン・シエン・ロンさん



◆サックス奨学生  
スキル・ダンザンワン・ジンル君



◆サックス奨学生  
クンラウォン・ソソミーさん



◆4月22日名古屋のモンゴル料理店にて、サックス奨学生ダンザン君主催の「モンゴル料理を楽しむ会」を開催。会員、留学生合わせて14名の楽しい会になりました。



豊橋北ロータリークラブ  
創立60周年記念式典・祝賀会

2017.5.14

式典・祝賀会／プログラム

9:50 --- 友愛の広場開始★／4Fザ・グリーンルーム

記念式典

- 10:30 --- 開会点鐘
- 物故会員紹介50周年～60周年
- 黙祷
- 国歌斉唱
- ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
- 開会の言葉
- 来賓・特別出席者
- 招待クラブ紹介
- 会長式辞
- 感謝状授与
- 実行委員長挨拶
- 来賓祝辞
  - 豊橋市副市長 金田英樹様
  - RI第2760地区 ガバナー 服部良男様
  - 豊橋ロータリークラブ 会長 佐々木利政様
- 祝電披露
- 記念事業紹介



11:45 --- 閉会点鐘

祝賀会

- 12:00 --- オープニング／パーマネントフィッシュ演奏
- 会長挨拶
- 乾杯 ○豊橋商工会議所会頭 神野吾郎様
- 食事
- パーマネントフィッシュ演奏★
- 手に手つないで斉唱
- 14:00 --- 閉会挨拶



★パーマネントフィッシュ



豊橋北ロータリークラブ(佐藤元英会長、会員67人)は、ホテルアークリッシュ豊橋にて、創立60周年記念式典祝賀会を行いました。1957年5月初代佐藤利雄会長含む22人のチャーターメンバーが創立し、以来60年にわたってロータリー精神に基づく様々な奉仕活動を展開。住む人々の心の豊かさや住みやすさ向上・当地域への貢献を目指し活動して参りました。

来賓

- ◆豊橋市 副市長 ————— 金田 英樹
- ◆豊橋商工会議所 会頭 ————— 神野 吾郎
- ◆国立大学法人豊橋技術科学大学 副学長 — 井上 光輝
- ◆RI第2760地区 ガバナー ————— 服部 良男
- ◆RI第2760地区 地区幹事 ————— 岩月 昭佳
- ◆RI第2760地区 パストガバナー ——— 石川 和昌
- ◆RI第2760地区 ガバナーエレクト ——— 神野 重行
- ◆RI第2760地区 ガバナーノミニー ——— 村井總一郎
- ◆RI第2760地区東三河区分 ガバナー補佐 — 高桑 耐
- ◆RI第2760地区東三河区分 分区幹事 — 柴田 浩志
- ◆豊橋ロータリークラブ 会長 ————— 佐々木利政
- ◆豊橋ロータリークラブ 幹事 ————— 山本 光伸
- ◆蒲郡ロータリークラブ 副会長 ——— 小林 正人
- ◆蒲郡ロータリークラブ 会長エレクト ——— 鈴木 康仁
- ◆豊川ロータリークラブ 会長 ————— 鳥居 信行
- ◆豊川ロータリークラブ 幹事 ————— 大村 幸司
- ◆田原ロータリークラブ 会長 ————— 石黒 利昌
- ◆田原ロータリークラブ 幹事 ————— 宮崎 三佳
- ◆豊橋南ロータリークラブ 会長 ——— 西川 滋
- ◆豊橋南ロータリークラブ 幹事 ——— 白井 収
- ◆新城ロータリークラブ 会長 ——— 佐藤 泰惇
- ◆新城ロータリークラブ 幹事 ——— 夏目 工
- ◆渥美ロータリークラブ 会長 ——— 三浦 正好
- ◆渥美ロータリークラブ 幹事 ——— 小松 浩
- ◆豊川宝飯ロータリークラブ 会長 ——— 金田 柁宏
- ◆豊橋ゴールデンロータリークラブ 会長 — 宇藤 信
- ◆豊橋ゴールデンロータリークラブ 会長エレクト 若林 正治
- ◆田原パシフィックロータリークラブ 会長 — 富田 政彦
- ◆田原パシフィックロータリークラブ 幹事 — 大谷 弘隆
- ◆豊橋東ロータリークラブ 会長 ——— 松下 泰三
- ◆豊橋東ロータリークラブ 幹事 ——— 平野 正博
- ◆(株)中日新聞社 豊橋総局 総局長 ——— 石川 保典
- ◆(株)東愛知新聞社 代表取締役社長 ——— 本多 亮
- ◆(株)東海日日新聞社 代表取締役社長 ——— 白井 収

理事役員

- ◆会長 ————— 佐藤 元英
- ◆直前会長 ————— 小杉幸一郎
- ◆会長エレクト ————— 山内 有恒
- ◆副会長・クラブ奉仕委員長 ——— (前期)山本 光人  
(後期)鈴木 宣央
- ◆職業奉仕委員会 委員長 ——— 井上 史寛
- ◆社会奉仕委員会 委員長 ——— 金森 正芳
- ◆環境保全委員会 委員長 ——— 村田 裕
- ◆国際奉仕委員会 委員長 ——— 安達 道行
- ◆青少年奉仕委員会 委員長 ——— 酒井 和良
- ◆親睦活動委員会 委員長 ——— 石川 誠
- ◆幹事 ————— 大石 佳史
- ◆会計 ————— 石田 啓二
- ◆S.A.A. ————— 加藤 卓秀
- ◆副幹事 ————— 松尾 浩志



創立60周年対外的事業として、  
記念コンサートを実施しました。



60TH ANNIVERSARY CONCERT  
豊橋北ロータリークラブ  
創立60周年  
記念コンサート

2017.2.25  
穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

当クラブの会員にとっても「豊橋北ロータリークラブ」は凄いと感じて欲しい。この街に住んでいるコンサートのお客様にも「豊橋北ロータリークラブの活動は魅力的で凄い」と感じて欲しい。こんな願いを込めて、コンサートを企画実施しました。5月6日・7日に行われた三河市民オペラ「イル・トロヴァトーレ」を大成功に導いた、指揮者・演出家・ソリスト・合唱団・舞台スタッフの協力を得て、過去60年の中から心に残る日本と世界の名曲、オペラのアリアを歌ってもらいました。PLAT大ホール満員のお客様の魂を揺さぶり、感動していただくことができました。皆さんを感動に導くことができた私たちの喜びは、豊橋北ロータリークラブ今後10年のエネルギーとなります。

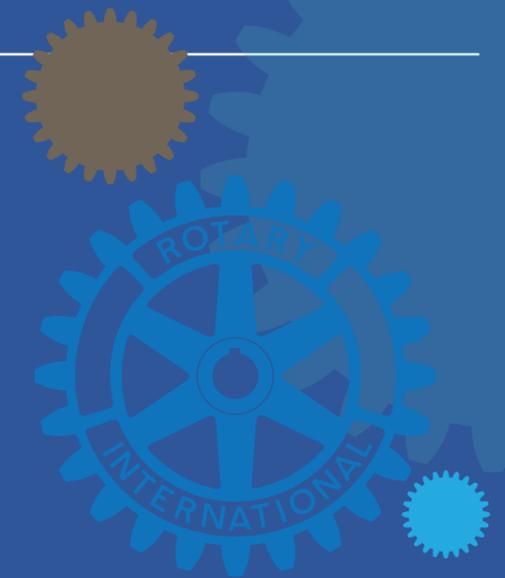
◆園田隆一郎さん(ピアノ)



◆高橋絵理さん(ソプラノ)

◆上江隼人さん(バリトン)

◆笛田博昭さん(テノール)



資料

60th Anniversary  
Rotary Club  
of Toyohashi-North





54th

# 2009-2010 地域に密着、地域に貢献



会長 理事  
羽田明弘

## 理事・役員

- ◆ 会長 理事 ————— 羽田明弘
- ◆ 会長エレクト 理事 ——— 鈴木伊能勢
- ◆ 副会長・クラブ奉仕 理事 — 福井英示
- ◆ 幹事 ————— 小杉幸一郎
- ◆ 会計 ————— 匹田雅久
- ◆ S.A.A. ————— 鈴木大次郎
- ◆ 副幹事 理事 ————— 佐藤元英
- ◆ 職業奉仕 理事 ————— 熊田嘉一郎
- ◆ 社会奉仕 理事 ————— 藤本孝宏
- ◆ 環境保全 ————— 中西良仁
- ◆ 新世代 理事 ————— 夏目憲永
- ◆ 国際奉仕 理事 ————— 鈴木宣央
- ◆ 親睦活動 ————— 松尾浩志
- ◆ 会場 ————— 岡本敏幸

委員会名	委員長	副委員長	委員
会長エレクト	鈴木伊能勢		
職業分類	夏目國弘	土井松男	
会員増強	兵藤俊朗	山本浩司	
会員選考	西村良彦		
R.情報	高倉宣夫	川口雄三	鈴木茂久
クラブ奉仕	福井英示		
出席	山口裕啓	黒石明邦	坂柳猛興
クラブ会報	加藤卓秀	牧野早希子	早川憲幸
広報	高畑昌隆	(長崎 隆)	石川顕次
親睦活動	松尾浩志	山本光人 八木基之	山本達吉、鈴木敏夫、(太田栄一)、小柳津啓一郎、内藤八郎 木村高章、河合伸浩、(石井一陽)、(川上千尋)、(成田公人) 大岩靖典、西川康夫、大石佳史、松崎和馬
雑誌	三井盛三	本多一義	柳川 龍、加子通久、氏原 伸
プログラム	佐藤元英		
会場	岡本敏幸	石田啓二 鎌田浩二	落合敏雄、佐藤元彦、小林康男、竹内稔弘、野寄一司 森田 定、(杉浦将仁)、馬淵京子、山田良徳、金子准子 中島 浩、岡本道子、城戸茂樹、下山暢子
S.S.A.	鈴木大次郎		
会計	匹田雅久		
職業奉仕	熊田嘉一郎	高坂泰弘	安田賢志、稲積秀一
社会奉仕	藤本孝宏	河合芳光	村上博彦、佐藤矩朗
環境保全	中西良仁	山本和正	小林高守、伴 實、鈴木行久
新世代	夏目憲永	山本忠男	田中正治郎、安達一真、杉本憲一
国際奉仕	鈴木宣央	古澤功三	八木 忠、中西喜久雄、浅井由崇
R.財団	谷山 勉	山内宥恒	
米山記念奨学	松井由次	佐久間武美	
米山奨学金制度(クラブ米山)	(鈴木敏夫)	(佐藤元英)	(川口雄三)、(馬淵京子)

2009	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2010	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	7月 7日	8月 4日	9月 1日	10月 5日	11月 10日	12月 1日	2010 1月 12日						
前期	初例会 プログラムの主題	納涼例会 クラブフォーラム	ゲスト・スピーチ 会員スピーチ	ゲスト・スピーチ ガバナー補佐訪問 職場例会	米山記念奨学について ガバナー公式訪問 クラブフォーラム	年次総会 ゲスト・スピーチ	後期	新年初例会	年男放談 ゲスト・スピーチ	インシエーションスピーチ ゲスト・スピーチ	春の家族会 地区協議会 雑誌月間について	創立記念例会 ゲスト・スピーチ	最終例会 ゲスト・スピーチ
	親睦活動	国際奉仕	新世代	職業奉仕	R.財団	職業奉仕		環境保全	国際奉仕	環境奉仕	親睦活動	新世代	環境保全
	担当部門	親睦活動	新世代	職業奉仕	R.財団	職業奉仕		環境保全	国際奉仕	環境奉仕	親睦活動	新世代	環境保全
	担当部門	親睦活動	新世代	職業奉仕	R.財団	職業奉仕		環境保全	国際奉仕	環境奉仕	親睦活動	新世代	環境保全
概要	「地域とともに」	「危険体験を社会に貢献」	「映画のつくり方と新作「ちゃん」と伝える」の	「職業奉仕がロータリーの基盤」	「ロータリー財団補助金について」	「地区活動報告」		「石が語る」	「シャノンソンのタバコワイナングラスをかたむけながら」	「R.財団補助金について」	「異文化との共生」	「藤ノ花学園の職業教育について」	「おいしいワインを飲みながら、クラシック音楽を聞こう」





57<sup>th</sup>

2012-2013

輝け、豊橋北ロータリークラブ!!  
楽しもう!学ぼう!そして感動!



会長 理事  
佐久間武美

理事・役員

- ◆会長 理事 ———— 佐久間武美
- ◆直前会長 理事 ———— 西村良彦
- ◆会長エレクト 理事 ———— 谷山 勉
- ◆副会長・クラブ奉仕 理事 — 木村高章
- ◆副会長 理事 ———— 牧野早希子
- ◆幹事理事 ———— 山内有恒
- ◆会計 ———— 兵藤俊朗
- ◆S.A.A. ———— 柳川 龍
- ◆副幹事 理事 ———— 鈴木宣央
- ◆職業奉仕 理事 ———— 岡本道子
- ◆社会奉仕 理事 ———— 松崎和馬
- ◆環境保全 理事 ———— 下山暢子
- ◆国際奉仕 理事 ———— 石田啓二
- ◆新世代奉仕 理事 ———— 大石佳史
- ◆親睦活動 理事 ———— 本多一義
- ◆会場 理事 ———— 高坂泰弘

委員会名	委員長	副委員長	委員
会長エレクト	谷山 勉 (鈴木宣央)		
職業分類	高畑昌隆	早川憲幸	
会員増強	(谷山 勉)		
会員選考	羽田明弘	(鈴木伊能勢)	(西村良彦)
R.情報	木村高章		
クラブ奉仕	(山内有恒)	鈴木宣央	
出席	牧野早希子	八木基之	
クラブ会報	本多一義	古澤功三、藤本孝宏 西川康夫、氏原 伸	小林康男、土井松男、西村良彦、川口雄三、野寄一司 稲積秀一、三井盛三、浅井由崇、山本忠男、大岩靖典
親睦活動	杉本憲一	黒石明邦、(八木基之)	佐藤元彦、小柳津啓一郎、鈴木茂久、匹田雅久
広報・雑誌	高坂泰弘	(加藤卓秀) 松尾浩志 熊田嘉一郎	石川顕次、村上博彦、竹内稔弘、佐藤矩朗、伴 實、中西喜久雄 鈴木伊能勢、松井由次、鈴木大次郎、山本光人、岡本敏幸、 岩月寛和、村田 裕、杉浦孝典、天川泰一、櫻井 正、鈴木信幸
会場	柳川 龍	山本浩司	
S.A.A.	岡本道子	夏目憲永	山本達吉、森田 定
職業奉仕	松崎和馬	加藤卓秀	落合敏雄、安達一眞、加子通久
社会奉仕	下山暢子	中西良仁	小林高守、内藤八郎、金子准子
環境保全	石田啓二	金森正芳	田中正治郎、河合伸浩、夏目國弘
国際奉仕	大石佳史	佐藤元英	高倉宣夫、山本和正
新世代奉仕	河合芳光	福井英示	
R.財団	鈴木行久	小杉幸一郎	
米山記念奨学	(小林康男)		
クラブ米山基金			

委員会一覧

2012	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2013	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	3	7	4	2	6	4	8	8	5	5	2	7	4
	10	21	11	9	13	11	15	15	12	12	9	14	11
	17	28	18	25	20	18	22	22	19	19	16	21	18
	24		25	2	27	25	29	29	26	26	23	28	18
	31			16	23	23							
				23	6	27							
				30	13	4							
				6	20	11							
				13	27	18							
				20	4	25							
				27	11	18							
				4	18	25							
				15	25	1							
				22	9	16							
				29	16	23							
				6	23	30							
				13	30	6							
				20	6	13							
				27	13	20							
				4	20	27							
				11	27	4							
				18	4	11							
				25	11	18							
				1	18	25							
				8	25	1							
				15	1	8							
				22	8	15							
				29	15	22							
				6	22	29							
				13	29	6							
				20	6	13							
				27	13	20							
				4	20	27							
				11	27	4							
				18	4	11							
				25	11	18							
				1	18	25							
				8	25	1							
				15	1	8							
				22	8	15							
				29	15	22							
				6	22	29							
				13	29	6							
				20	6	13							
				27	13	20							
				4	20	27							
				11	27	4							
				18	4	11							
				25	11	18							
				1	18	25							
				8	25	1							
				15	1	8							
				22	8	15							
				29	15	22							
				6	22	29							
				13	29	6							
				20	6	13							
				27	13	20							
				4	20	27							
				11	27	4							
				18	4	11							
				25	11	18							
				1	18	25							
				8	25	1							
				15	1	8							
				22	8	15							
				29	15	22							
				6	22	29							
				13	29	6							
				20	6	13							
				27	13	20							
				4	20	27							
				11	27	4							
				18	4	11							
				25	11	18							
				1	18	25							
				8	25	1							
				15	1	8							
				22	8	15							
				29	15	22							
				6	22	29							
				13	29	6							
				20	6	13							
				27	13	20							
				4	20	27							
				11	27	4							
				18	4	11							
				25	11	18							
				1	18	25							
				8	25	1							
				15	1	8							
				22	8	15							
				29	15	22							
				6	22	29							
				13	29	6							
				20	6	13							
				27	13	20							
				4	20	27							
				11	27	4							
				18	4	11							
				25	11	18							
				1	18	25							
				8	25	1							
				15	1	8							
				22	8	15							
				29	15	22							
				6	22	29							
				13	29	6							
				20	6	13							
				27	13	20							
				4	20	27							
				11	27	4							
				18	4	11							
				25	11	18							
				1	18	25							
				8	25	1							
				15	1	8							
				22	8	15							
				29	15	22							
				6	22	29							
				13	29								



59th

# 2014-2015 心と体のスーパーヘルスを めざし、奉仕の継続を



会長 理事  
鈴木大次郎

## 理事・役員

- ◆ 会長 理事 ————— 鈴木大次郎
- ◆ 直前会長 理事 ————— 谷山 勉
- ◆ 会長エレクト 理事 ——— 小杉幸一郎
- ◆ 副会長・クラブ奉仕 理事 — 山本和正
- ◆ 幹事理事 ————— 加藤卓秀
- ◆ 会計 ————— 石田啓二
- ◆ S.A.A. ————— 古澤功三
- ◆ 副幹事 理事 ————— 夏目憲永
- ◆ 職業奉仕 理事 ————— 西川康夫
- ◆ 社会奉仕 理事 ————— 岡本道子
- ◆ 環境保全 理事 ————— 櫻井 正
- ◆ 国際奉仕 理事 ————— 天川泰一
- ◆ 青少年奉仕 理事 ————— 村田 裕
- ◆ 親睦活動 理事 ————— 高坂泰弘
- ◆ 会場 理事 ————— 下山暢子

委員会名	委員長	副委員長	委員
会長エレクト	小杉幸一郎		
職業分類	(夏目憲永)		
会員増強	羽田明弘	大石佳史	
会員選考	(小杉幸一郎)		
R.情報	西村良彦	佐久間武美	谷山 勉
クラブ奉仕	山本和正	岡本敏幸	
出席	(加藤卓秀)	夏目憲永	
親睦活動	高坂泰弘	八木基之 熊田嘉一郎 金森正芳	田中正治郎、落合敏雄、小林康男、土井松男 夏目國弘、野寄一司、鈴木行久、佐藤元英 浅井由崇、山本忠男、安達道行
広報・雑誌	岩月寛和	山本光人	匹田雅久、福井英示、高倉宣夫、稲積秀一
会場 クラブ会報含む	下山暢子	松尾浩志 (岩月寛和) 杉浦孝典	小林高守、小柳津啓一郎、内藤八郎、鈴木茂久 中西喜久雄、高畑昌隆、牧野早希子、藤本孝宏、金子准子 岩瀬豊秀、伊藤好保、酒井和良、佐藤秀治、井上史寛
S.A.A.	古澤功三		
職業奉仕	西川康夫	松井由次、氏原 伸	兵藤俊朗、鈴木信幸
社会奉仕	岡本道子	佐藤元彦	山本浩司、河合芳光
環境保全	櫻井 正	山内恒	竹内稔弘、佐藤矩朗、伴 實、柳川 龍
国際奉仕	天川泰一	大岩靖典	山本達吉、木村高章
青少年奉仕	村田 裕	中西良仁	鈴木宣央、松崎和馬
R.財団	本多一義	石田啓二	
米山記念奨学	川口雄三	鈴木伊能勢	
クラブ米山基金	(山本光人)		

2014	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	1	5	2	7	4	2	6						
	8	19	9	14	11	9	13						
	15	26	16	21	18	16	20						
	22		30	28	25	16	27						
	29						3						
							10						
							17						
							24						
							3						
							10						
							17						
							24						
							7						
							14						
							19						
							28						
							12						
							19						
							26						
							2						
							9						
							16						
							23						

**前期**

7月 1日 初例会  
7月 8日 六大奉仕発表  
7月 15日 理事会  
7月 22日 環境保全担当例会  
7月 29日 職業奉仕担当例会  
8月 5日 納涼例会  
8月 19日 クラブフォーラム  
8月 26日 ローター財団  
9月 2日 青少年奉仕担当例会  
9月 9日 親睦活動担当例会  
9月 16日 クラブフォーラム  
9月 30日 ガバナー補佐訪問  
10月 7日 理事会  
10月 14日 ガバナー公式訪問  
10月 21日 国際奉仕担当例会  
10月 28日 環境保全担当例会  
11月 4日 イニシエーションスピーチ  
11月 11日 クラブフォーラム  
11月 18日 優良従業員表彰  
11月 25日 クラブ奉仕担当例会  
12月 2日 年次総会  
12月 9日 国際奉仕担当例会  
12月 16日 年忘れ家族会

12月 2日 親睦活動③  
12月 9日 国際奉仕②  
12月 16日 理事会⑥  
12月 23日 クラブ奉仕③  
12月 30日 職業奉仕②  
12月 6日 社会奉仕①  
12月 13日 会員増強①

「Let It Be  
ビートルズ・ナイト」  
演奏/ザ・スターキー

①年次総会  
②米山奨学生スピーチ  
ケオドウン・ソムチャット君

「今までの奉仕活動の  
歩みと新たな奉仕活動」  
※古澤功三会員のお話の後、  
グループ討議を行った

「田原メガソーラと  
再生可能エネルギー」  
〜再生可能エネルギー事業の  
最近の動向について〜  
講師/板倉弘計氏

「安全保障と内外情勢」  
講師/森本敏氏(元防衛大臣)

「現代の間違いだらけの  
家づくり」  
講師/秋田憲司氏

「宮里優作プロゴルファー、  
初優勝の要因は？」  
講師/杉澤伸章氏

「真夏のサンセットクルーズと  
ナイト・イリュージョン」  
於/ラクーナ蒲郡

「中国といかに  
付き合っていくか」  
日本型ビジネスモデルの  
中国展開」  
講師/伊丹敬之氏

「心と体の  
スーパーヘルスをめざし  
奉仕の継続を」  
会長より新年度の方針説明

**後期**

1月 6日 新年初例会  
1月 13日 年男放談  
1月 20日 クラブ奉仕担当例会  
1月 27日 環境保全担当例会  
2月 3日 職場訪問例会  
2月 10日 青少年奉仕担当例会  
2月 17日 社会奉仕担当例会  
2月 24日 理事会  
3月 3日 職業奉仕担当例会  
3月 10日 クラブ奉仕担当例会  
3月 17日 国際奉仕担当例会  
3月 24日 クラブフォーラム  
4月 7日 広報・雑誌担当例会  
4月 14日 環境保全担当例会  
4月 19日 春の家族旅行  
4月 28日 社会奉仕担当例会  
5月 12日 創立記念例会  
5月 19日 クラブフォーラム  
5月 26日 530例会  
6月 2日 職業奉仕担当例会  
6月 9日 青少年奉仕担当例会  
6月 16日 社会奉仕担当例会  
6月 23日 最終例会

1月 6日 親睦活動④  
1月 13日 会場①  
1月 20日 クラブ奉仕④  
1月 27日 環境保全④  
2月 3日 職業奉仕③  
2月 10日 青少年奉仕②  
2月 17日 社会奉仕②  
2月 24日 理事会⑦  
3月 3日 職業奉仕④  
3月 10日 クラブ奉仕⑤  
3月 17日 国際奉仕③  
3月 24日 青少年奉仕③  
4月 7日 広報・雑誌①  
4月 14日 環境保全⑤  
4月 19日 親睦活動⑤  
4月 28日 社会奉仕③  
5月 12日 理事会⑧  
5月 19日 国際奉仕④  
5月 26日 社会奉仕④  
6月 2日 職業奉仕⑤  
6月 9日 青少年奉仕④  
6月 16日 社会奉仕⑤  
6月 23日 理事会⑨

「ロータリアンは園が命、  
健康な園をたもつために」  
山本光人会員

豊橋市立くすのき  
特別支援学校での  
ステイブルバンコンサート  
演奏/松井奈都子氏ほか3名

「想いをかたちにする力」  
〜カンボジアとインドでの  
子どもが売られる  
問題をなくすために〜  
講師/村田早耶香氏

「飛騨千光寺  
スピリチュアルツアー」  
高山・老舗料亭  
「洲さき」での会食  
「RCにおけるIT・  
SNSの活用並びに  
iPadの活用について」  
講師/片山勇氏(大分臨海RC)

「2760地区の  
国際奉仕活動の状況と  
識字率向上について」  
講師/堀江英弥氏(名古屋大須RC)

「第2回ええじゃないか豊橋  
サイクルフェスティバル」  
開催による地域活性化」  
佐藤元英会員

職場訪問例会  
①「医療現場の現実」  
講師/市原透氏

②(独)国立病院機構  
豊橋医療センター 見学

「落語/植木屋娘」  
鶴橋滅渡氏(豊橋落語天狗連)

「新春を寿ぐ笛と  
小鼓による能楽子の調べ」  
演奏/大野誠氏、後藤嘉津幸氏



61<sup>th</sup>

# 2016-2017 The 豊橋北ロータリークラブ



会長 理事  
佐藤元英

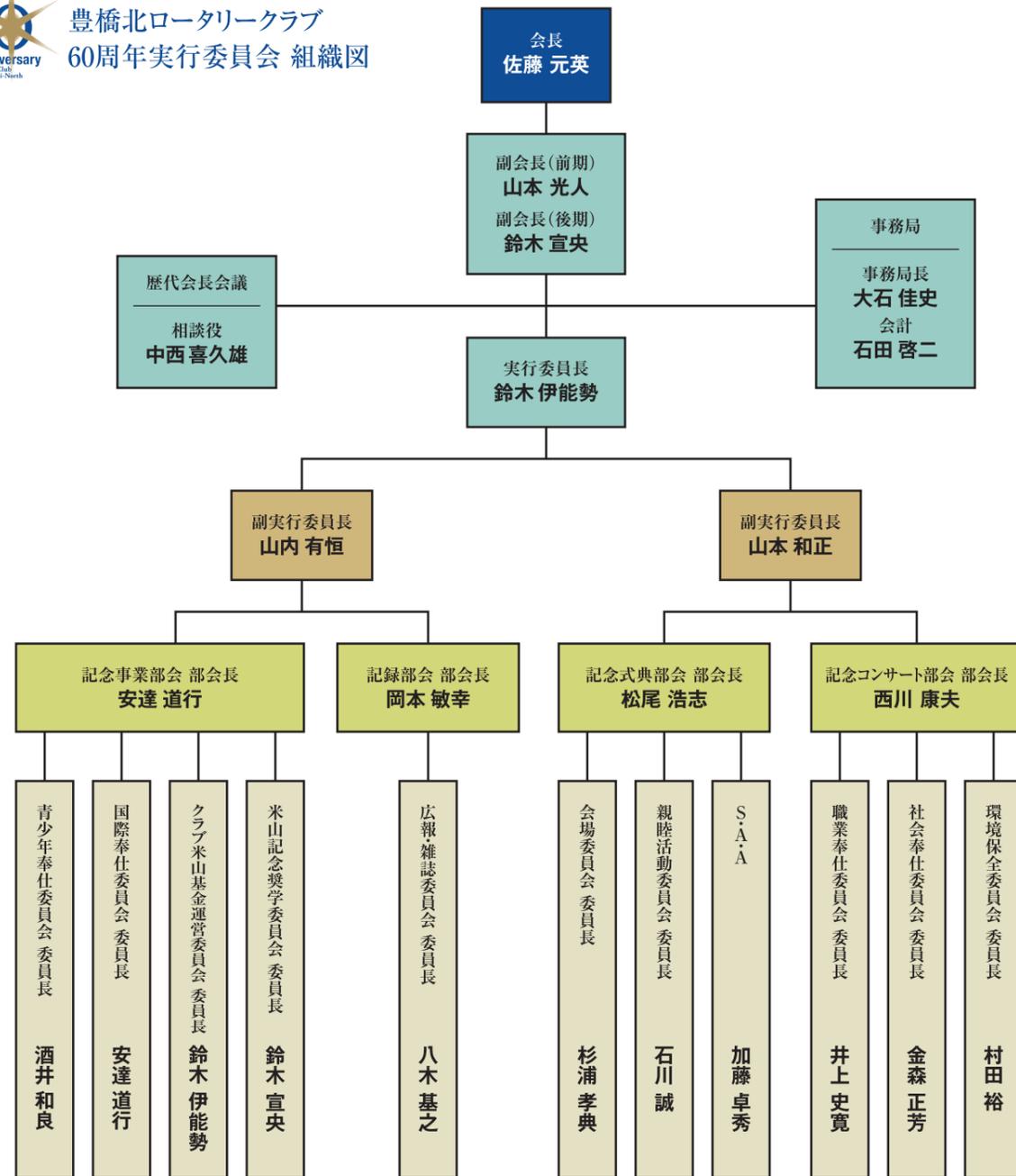
## 理事・役員

- ◆ 会長 理事 ————— 佐藤元英
- ◆ 直前会長 理事 ————— 小杉幸一郎
- ◆ 会長エレクト 理事 ————— 山内有恒
- ◆ 副会長・クラブ奉仕 理事 (前期) — 山本光人  
(後期) — 鈴木宣央
- ◆ 幹事理事 ————— 大石佳史
- ◆ 会計 ————— 石田啓二
- ◆ S.A.A. ————— 加藤卓秀
- ◆ 60周年実行委員長 ————— 鈴木伊能勢  
(オブザーバー)
- ◆ 副幹事 理事 ————— 松尾浩志
- ◆ 職業奉仕 理事 ————— 井上史寛
- ◆ 社会奉仕 理事 ————— 金森正芳
- ◆ 環境保全 理事 ————— 村田裕
- ◆ 国際奉仕 理事 ————— 安達道行
- ◆ 青少年奉仕 理事 ————— 酒井和良
- ◆ 親睦活動 理事 ————— 石川誠
- ◆ 会場 理事 (前期) ————— 杉浦孝典

委員会名	委員長	副委員長	委員
会長エレクト	山内有恒		
職業分類	(松尾浩志)		
会員増強	山内有恒	(大石佳史)	(加藤卓秀)(鈴木宣央)(夏目憲永)
会員選考	(山内有恒)		
R.情報	谷山勉	鈴木大次郎	小杉幸一郎
クラブ奉仕	[前期]山本光人 [後期]鈴木宣央		
出席	(大石佳史)	松尾浩志	
親睦活動	石川 誠	(八木基之) 松崎和馬 佐藤秀治	田中正治郎、佐藤元彦、小柳津啓一郎、 小林康男、土井松男、鈴木茂久、福井英示、 高倉宣夫、浅井由崇、熊田嘉一郎、岩瀬豊秀、埜村 昇
広報・雑誌	八木基之	河合芳光	佐久間武美(岡本敏幸)
会場 クラブ会報含む	[前期]杉浦孝典	(西川康夫) [後期委員長代行]下山暢子 北田栄一	落合敏雄、小林高守、内藤八郎、竹内稔弘、佐藤矩朗 伴 實、中西喜久雄、羽田明弘、高坂泰弘、伊藤好保、布施知章 鈴木信正、坂本徹嗣、越智成幸、渡辺康二、小山能弘
S.A.A.	加藤卓秀		
職業奉仕	井上史寛	岡本道子	西村良彦、山本忠男
社会奉仕	金森正芳	匹田雅久	本多一義、藤本孝宏
環境保全	村田 裕	夏目憲永	牧野早希子、金子准子
国際奉仕	安達道行	山田佳弘	夏目國弘、稲積秀一
青少年奉仕	酒井和良	大岩靖典	山本和正
R.財団	西川康夫		
米山記念奨学 奨学金基金運営	鈴木宣央	岡本敏幸	
	鈴木伊能勢		

2016 7月 5 12 19 26 8月 2 9 23 30 9月 6 13 20 27 10月 4 11 18 25 11月 1 8 15 22 29 12月 6 13 20 2017 1月 10 17 24 31 2月 7 14 21 25 3月 7 14 21 28 4月 4 11 18 25 5月 9 14 23 30 6月 4 13 20

前期	後期
<p>7月 5日 プログラムの主題</p> <p>7月 12日 初例会</p> <p>7月 19日 六大奉仕発表</p> <p>7月 26日 青少年奉仕担当例会</p> <p>8月 2日 国際奉仕担当例会</p> <p>8月 9日 社会奉仕担当例会</p> <p>8月 23日 納涼例会</p> <p>8月 30日 職業奉仕担当例会</p> <p>9月 6日 ガバナー補佐訪問</p> <p>9月 13日 イニシエーションスピーチ</p> <p>9月 20日 環境保全担当例会</p> <p>9月 27日 ガバナー補佐訪問</p> <p>10月 4日 米山記念奨学R財団</p> <p>10月 11日 社会奉仕担当例会</p> <p>10月 18日 国際奉仕担当例会</p> <p>10月 25日 里帰り例会フォーラム</p> <p>11月 1日 イニシエーションスピーチ</p> <p>11月 8日 青少年奉仕担当例会</p> <p>11月 15日 優良従業員表彰</p> <p>11月 22日 記念コンサート&amp;記念式典説明</p> <p>11月 29日 クラブフォーラム</p> <p>12月 6日 年次総会</p> <p>12月 13日 社会奉仕担当例会</p> <p>12月 20日 年忘れ家族会</p>	<p>1月 10日 新年初例会</p> <p>1月 17日 年男放談</p> <p>1月 24日 環境保全担当例会</p> <p>1月 31日 職業奉仕担当例会</p> <p>2月 7日 国際奉仕担当例会</p> <p>2月 14日 クラブフォーラム</p> <p>2月 21日 理事会担当例会</p> <p>2月 25日 60周年記念コンサート</p> <p>3月 7日 青少年奉仕担当例会</p> <p>3月 14日 環境保全担当例会</p> <p>3月 21日 職場訪問例会</p> <p>3月 28日 クラブフォーラム</p> <p>4月 4日 社会奉仕担当例会</p> <p>4月 11日 記念式典準備例会</p> <p>4月 18日 社会奉仕担当例会</p> <p>4月 25日 広報・雑誌担当例会</p> <p>5月 9日 創立記念例会</p> <p>5月 14日 60周年記念式典</p> <p>5月 23日 青少年奉仕担当例会</p> <p>5月 30日 530例会</p> <p>6月 4日 初夏の家族会</p> <p>6月 13日 国際奉仕担当例会</p> <p>6月 20日 最終例会</p>
<p>担当部門</p> <p>理事会①</p> <p>青少年奉仕①</p> <p>国際奉仕①</p> <p>社会奉仕①</p> <p>親睦活動①</p> <p>職業奉仕①</p> <p>納涼例会①</p> <p>環境保全①</p> <p>理事会③</p> <p>青少年奉仕②</p> <p>米山記念奨学①</p> <p>社会奉仕②</p> <p>国際奉仕②</p> <p>理事会⑤</p> <p>会員増強②</p> <p>青少年奉仕③</p> <p>職業奉仕②</p> <p>60周年実行委員会①</p> <p>環境保全②</p> <p>理事会⑥</p> <p>社会奉仕③</p> <p>親睦活動②</p>	<p>親睦活動③</p> <p>会場①</p> <p>環境保全③</p> <p>職業奉仕③</p> <p>国際奉仕③</p> <p>社会奉仕④</p> <p>理事会⑦</p> <p>60周年実行委員会②</p> <p>青少年奉仕④</p> <p>環境保全④</p> <p>職業奉仕④</p> <p>国際奉仕④</p> <p>広報・雑誌①</p> <p>60周年実行委員会③</p> <p>社会奉仕⑤</p> <p>職業奉仕⑤</p> <p>青少年奉仕⑤</p> <p>60周年実行委員会④</p> <p>理事会⑧</p> <p>親睦活動④</p> <p>環境保全⑤</p> <p>青少年奉仕⑤</p> <p>国際奉仕⑤</p> <p>理事会⑨</p>
<p>「クラブ米山基金等細則変更に関する臨時総会」</p> <p>「会長による運営方針発表」</p> <p>「60周年実行委員長による委員会運営方針発表」</p> <p>「豊橋市バイオマス資源利活用事業について」</p> <p>「豊橋市役所環境政策課課長」</p> <p>「米山奨学生 母国紹介」</p> <p>「豊橋技術科学大学」</p> <p>「豊橋技術科学大学」</p> <p>「豊橋技術科学大学」</p> <p>「豊橋技術科学大学」</p> <p>「豊橋北R.C」</p> <p>「細則変更に関する臨時総会」</p> <p>「井上史寛会員」</p> <p>「イニシエーションスピーチ」</p> <p>「石川誠会員」</p> <p>「創立60周年記念事業」</p> <p>「豊橋技術科学大学」</p> <p>「留学生の現状とベナン校の紹介」</p> <p>「講師/リム・バン・ホイ氏 (豊橋技術科学大学 国際教育センター/准教授)」</p> <p>「豊橋北R.C」</p> <p>「細則変更に関する臨時総会」</p> <p>「井上史寛会員」</p> <p>「イニシエーションスピーチ」</p> <p>「石川誠会員」</p> <p>「創立60周年記念事業」</p> <p>「豊橋技術科学大学」</p> <p>「留学生の現状とベナン校の紹介」</p> <p>「講師/リム・バン・ホイ氏 (豊橋技術科学大学 国際教育センター/准教授)」</p> <p>「豊橋北R.C」</p> <p>「細則変更に関する臨時総会」</p> <p>「井上史寛会員」</p> <p>「イニシエーションスピーチ」</p> <p>「石川誠会員」</p> <p>「創立60周年記念事業」</p> <p>「豊橋技術科学大学」</p> <p>「留学生の現状とベナン校の紹介」</p> <p>「講師/リム・バン・ホイ氏 (豊橋技術科学大学 国際教育センター/准教授)」</p>	<p>「おめでとう60周年、ありがとう60周年」</p> <p>「最後までみんなで盛り上げよう」</p> <p>「演劇/ザ・マイルドマンズの皆さん」</p> <p>「義足のボーダー」</p> <p>「世界を目指す」</p> <p>「講師/鈴木隆太氏」</p> <p>「レザークラフトショー」</p> <p>「POSITIVE」オーナー</p> <p>「スノーボーダー」</p> <p>「豊橋北ロータリークラブ創立記念例会」</p> <p>「パネラー/佐藤元彦 会員」</p> <p>「鈴木伊能勢 会員」</p> <p>「コーディネーター/佐藤元英 会長」</p> <p>「My Rotary」</p> <p>「地区公共イメージ」</p> <p>「講師/佐久間武美 会員」</p> <p>「地区公共イメージ」</p> <p>「向上委員会 副委員長」</p> <p>「My Rotary」</p> <p>「登録方法について」</p> <p>「講師/志水哲也氏」</p> <p>「豊橋北ロータリークラブ創立60周年記念コンサート」</p> <p>「於/種々の国とよはし芸術劇場」</p> <p>「PLAT」主ホール</p> <p>「農業へ新しい風 食からの視点」</p> <p>「講師/榎本和子氏」</p> <p>「榎本はちみつベリファーム代表」</p> <p>「懐かしの昭和歌謡の夕べ」</p> <p>「演奏/APANVISTA」</p> <p>「シヤパン」の皆さん</p> <p>「創立60周年記念事業」</p> <p>「おかえりなさい。『湘盈さん』」</p> <p>「講師/丁湖盈氏」</p> <p>「2015-16地区米山奨学生」</p> <p>「環境にやさしい 古代建築物について」</p> <p>「講師/小杉幸一郎 会員」</p> <p>「年男放談」</p> <p>「鈴木伊能勢 会員」</p> <p>「村田裕 会員」</p>



## 編集後記

創立60周年を迎えるにあたり、記念事業の一環として、「60年史」を編纂することになりました。もとより浅学非才、この任にあまりあるにもかかわらず、編集を任されたことに、その責任の重さに身の細る思いでした。幸いにも当該年度の会長・幹事はじめ、第52代会長・幹事から第62代会長・幹事、また指導的立場におられた先輩方々、会員諸氏、各方面の関係者方々からのご指導、ご協力により発刊にこぎつけることができました。誠にありがとうございました。最後に、積極的にご助言を頂きました鈴木伊能勢60周年実行委員長と担当の実行委員諸氏に心より深く敬意と感謝を表します。

60周年記念誌部会／部会長 岡本敏幸

### 編集委員

- ◆部会長／岡本敏幸 ◆副部会長／八木基之
- ◆部員／松崎和馬・下山暢子・村田 裕

### デザイン

- ◆株式会社エクスラージ
- AD. 共田慎性／D. 中川裕樹／C. 渡辺美咲(座談会)

### 発行

豊橋北ロータリークラブ  
 〒440-0075 豊橋市花田町石塚42 豊橋商工会議所内  
 TEL0532-53-1000



豊橋北ロータリークラブ  
創立60周年記念誌